

13 「飛驒^{ひだ}山脈」は、自然編の地形・地質・土壌関係などで使用し、他は「北アルプス」と表記した。

14 人名の敬称は、物故者・生存者を問わず原則として省略した。

15 旧市町村名や旧集落名については、その次に（ ）でくくり、現在の名称を付記した。

16 大字の小倉・温・明盛には、「小倉地区」というように「地区」をつけて表記した。

14区（行政区）の北小倉・野沢・七日市場などは、「区」はつけず「北小倉」と表記した。

なお、村内の3地区とそこに所属する14区名は、次のとおりである。

「小倉地区」 北^{きた}小^お倉^{ぐら}・南^{みな}小^お倉^{ぐら}・東^{ひがし}小^お倉^{ぐら}・室^{むろ}町^{まち}
「温地区」 野^の沢^{ざわ}・上^{かみな}長^{なが}尾^お・下^{しも}長^{なが}尾^お・楡^{にれ}・住^{すみ}吉^{よし}
「明盛地区」 七^な日^な市^か場^{いち}・一^ひ日^と市^{いち}場^ば・二^{ふた}木^{つぎ}・及^{およ}木^び・中^{なか}萱^{がや}

17 年号は日本暦を使い、西洋暦は原則として、その都度（ ）をつけて記した。

18 文中の写真・図・表は、各章ごとに「写真6-8、図3-14、表4-4」のように通し番号を付した。

19 本文の記述や写真・図表には、できるだけ年月日・場所などを入れたが、環境保護などに配慮して割愛した場合もある（主に植物）。また、必要に応じて出典・提供者・所蔵者などを記した。

20 調査や執筆に使用した参考・引用文献は、各章の末尾に一括して掲載した。そのうち、記述の典拠としたものは、本文中にその旨を記した。（宮田，1993）は、宮田氏が1993年にその成果を発表したことを示す。

21 巻末に、本巻の執筆分担・調査協力者・資料提供者を記した。また、『三郷村誌Ⅱ』の^{へんさん}編纂・刊行に関係した平成8年から平成16年までの編纂準備委員，編纂委員，古文書解説委員，調査協力委員，刊行会役員，事務局・編纂室職員の各名簿を載せた。

『三郷村誌Ⅱ 第Ⅰ巻 自然編』 目次

口 絵	i
刊行のことば	三郷村長・三郷村誌刊行会長 西山稔司 ……iii
凡 例	v

第1章 総 論	1
1 三郷村の地勢	3
2 三郷村の地形・地質の概要	4
3 三郷村の気象の概要	5
4 三郷村の植物の概要	6
5 三郷村の動物の概要	8

第2章 地形・地質	11
第1節 三郷村の基盤岩類	13
1 地質学の立場から見た三郷村の位置	13
2 黒沢川の転石で見る三郷村岩石図鑑	14
3 三郷村の山地の地質	26
4 放散虫化石と岩石の年代	37
5 地層の積み重なりが語るもの	44
6 混在岩とメランジュ	46
7 付加体が造る三郷村の山地	48
第2節 平地の地形・地質	50
1 扇状地はどのようにしてできたか	50
2 黒沢川扇状地（上野面）とその範囲	51
3 鳴沢川の地形・地質	52
4 黒沢川の地形・地質	53
5 北小倉の地質	57
6 南小倉の地質	59
7 室町の地質	60
8 東小倉の地質	61
第3節 丸田面の地形・地質	64
1 河岸段丘はどのようにしてできたか	64
2 野沢の地質	65

3	上長尾の地質	66
4	下長尾の地質	67
5	楡の地質	70
6	住吉の地質	71
7	七日市場の地質	73
8	一日市場の地質	74
9	二木の地質	76
10	及木の地質	78
11	中萱の地質	79
12	堰はどのような場所に造られたか	81
13	丸田面地下のインブリケーション	83
14	岩岡面	84
第4節	他の地質現象	85
1	自然災害の歴史	85
2	温泉の掘削	86
3	地震の震度	89
4	三郷村のクリスタル・アッシュ	92
5	三郷村の地下資源	93
第5節	三郷村の大地ができるまで	95
1	赤道付近で堆積したチャート	95
2	大陸の縁に付加した中生代の岩石	95
3	日本列島の成立と三郷村の地質	95
4	フォッサマグナの海が造られたころ	96
5	別所層が堆積したころ	97
6	松本平の形成	97
7	盆地の形成と段丘	98
8	第四紀完新世の氾濫	98
参考・引用文献		98
第3章	土 壤	99
第1節	土 壤	101
1	土壌とは	101
2	岩石の風化	102
3	土壌のでき方と土壌型	103
4	土壌調査の内容	106

第2節	三郷村に現われる土壌	108
1	三郷村の土壌の概要	108
2	自然土壌	108
3	耕地土壌	114
三郷村土壌図		118
第3節	家庭園芸と土壌	121
1	土壌と施肥	121
2	植木鉢園芸	121
参考・引用文献		122
第4章	気 象	123
第1節	三郷村の気象	125
1	変化に富む三郷村の気象	125
2	三郷村の四季の変化の特徴	127
第2節	三郷村の気温	136
1	全国の年平均気温からみた気温の分布状況	136
2	年較差	136
3	三郷村と松本市街地の気温の違い	136
4	夏でも涼しい三郷村	137
5	遅霜の被害	139
6	「暑さ寒さも彼岸まで」	140
7	三郷村の100年前の気温は？	141
8	100年前の気温変化と、平成13年（2001）の気温変化	141
第3節	全国でも降水量の少ない安曇平	144
1	長野県の中中部は、全国でも雨の少ない地域	144
2	降水量の違い	144
3	雨量は少ないが、河川の水や伏流水は豊富	145
4	なぜ大雪になるのか？	146
第4節	三郷村の風	148
1	南寄りの卓越風	148
2	防風屋敷林 ——先人の知恵——	155
第5節	霧の発生	156
1	9月の霧	156
2	10月以降の霧	157
3	朝の冷え込みが厳しいときの発生場所	157

第6節 三郷村に伝わる気象に関する言い伝え	158
参考・引用文献	158
第5章 陸 水	159
第1節 三郷村の水系	161
1 自然水系についてどんなことがいえるか	161
2 河川の勾配 こうばい	161
第2節 三郷村の自然水系の水質	163
1 黒沢川の水温の年変化	163
2 黒沢不動尊前・赤坂橋・千国橋・鳴沢川北沢の水温, pH, EC	163
第3節 三郷村の地下水	168
1 地下水の動向と水質	168
2 貞享義民記念館 じやうきぎん の地下水水質の年変化	169
第4節 深井戸	170
1 水温	170
2 電気伝導度	170
3 pH	170
第5節 灌漑用水 かんがい の水質	171
1 水温	171
2 電気伝導度	173
3 pH	174
第6節 三郷村の付着藻類と水生昆虫	175
1 調査地点	175
2 付着藻類	176
3 水生昆虫(幼虫)	178
参考・引用文献	180
第6章 植 物	181
第1節 植物が生育する環境と植物調査	183
1 三郷村の植物が生育する環境	183
2 三郷村の植物調査	185
第2節 植物の種類と植物分布	187
1 三郷村の野生植物の種類	187
2 植物の分布	189
3 標高の変化と植生帯	194

第3節 三郷村の貴重な野生植物	197
1 変化する植物の種類	197
2 三郷村で注目したい野生植物	199
第4節 山地の植物	206
1 動植物や人間の生活とかかわってきた山地帯	206
2 北黒沢流域の植物	207
3 山麓 さんろく 地域の植物	210
4 鳴沢川流域の植物	213
5 尾根地域の植物	217
6 シダ植物	219
第5節 平地の植物	225
1 はじめに	225
2 三郷村の平地の植物の概要	227
3 三郷村内の作物と雑草	237
4 三郷村内の集落の樹木	241
5 三郷村の天然記念物(植物)	247
第6節 三郷村の植生	254
1 植生とはなにか	254
2 三郷村の植生の移り変わり	255
3 三郷村の植生帯	258
4 亜高山帯(シラビソ帯)の植物群落	260
5 山地帯(ブナ帯)の植物群落	261
6 人里の植物群落	268
7 植生図	279
第7節 帰化植物	281
1 帰化植物とは	281
2 畑の野菜や花壇の草花も帰化植物?	281
3 帰化植物には、いくつかの区分がある	281
4 帰化植物の優れた能力	282
5 帰化植物は、どんな場所に多いのか?	284
6 三郷村における最近の動向	284
7 人間生活の影響を示す指標: 帰化率	286
第8節 生活に利用された野生植物 ——食用植物・木の実・薬草・キノコ——	289
1 はじめに	289
2 万葉時代に食用にされた植物	290

3	三郷村の食用野草・山菜	291
4	村の産業として利用したい食用植物	294
5	三郷村の食べられる木の実	294
6	薬用植物	295
7	有毒植物	297
8	いろいろなことに使われてきた植物	298
9	三郷村の植物の方言	302
10	キノコ	303
	参考・引用文献	312

第7章 動物 315

第1節 脊椎動物 317

1	けものの仲間	317
(1)	カモシカは増えたのか	317
(2)	ツキノワグマは生き残れるか	320
(3)	ニホンザルは、なぜ夏に木本の樹皮を剥ぐのか	322
(4)	キツネは人里近くに	326
(5)	里の住人、タヌキは大丈夫か	328
(6)	ムササビは、森のグライダー	329
(7)	珍獣ヤマネが棲んでいた	330
(8)	闇の忍者テン	331
(9)	穴掘りの名手アナグマ	332
(10)	ネズミの仲間とモグラの仲間たち	333
(11)	そのほかのけものたち	337
	リス ホンドモモンガ ノウサギ コウモリ類	
	イタチ オコジョ イノシシ	
2	鳥の仲間	339
(1)	三郷村の鳥の概要	339
(2)	集落と、その周辺の鳥	340
(3)	社寺林の鳥	342
(4)	水田の鳥	347
(5)	黒沢川周辺の鳥	348
(6)	果樹園地帯の鳥	349
(7)	山地の鳥	352
(8)	タカの仲間	354

(9)	タカの渡り	356
(10)	群れでねぐらをとる鳥	359
3	サンショウウオとカエルの仲間 (両生類)	361
	ハコネサンショウウオ ヒダサンショウウオ イモリ アズマヒキガエル	
	タゴガエル ツチガエル トノサマガエル アマガエル シュレーゲルアオガエル	
4	トカゲ・ヘビの仲間 (爬虫類)	365
	トカゲ カナヘビ アオダイショウ シマヘビ ジムグリ ヤマカガシ	
	マムシ	
5	魚の仲間	367
	ニッコウイワナ ヤマメ ニジマス カジカ アブラハヤ ドジョウ	

第2節 無脊椎動物 370

1	昆虫の仲間	370
(1)	トンボの仲間	370
(2)	チョウの仲間	378
(3)	ガの仲間	395
(4)	カメムシの仲間	401
(5)	バッタやコオロギの仲間	407
(6)	甲虫の仲間	415
	三郷村の甲虫 忍者の甲虫と詐欺師の甲虫 マイマイカブリの仲間	
	歩行性甲虫の仲間 住吉神社の謎 ビロウドコガネの仲間	
	カミキリムシの仲間 三郷村のホタル	
(7)	ハチの仲間 ——ハチの生活をのぞいてみよう——	442
(8)	シリアゲムシの仲間 ——飛べなくなったシリアゲムシ——	447
(9)	アブやハエの仲間	450
(10)	その他の昆虫	456
2	溪流の昆虫の仲間	463
(1)	水生昆虫の分布	463
(2)	水生昆虫は黒沢川のどこに多いか?	466
(3)	さまざまな特徴を持った水生昆虫	468
(4)	黒沢川の注目すべき水生昆虫	470
(5)	黒沢川の水生昆虫を中心とした食物網	472
3	ダニやクモの仲間	473
(1)	ダニの仲間	473
	① ササラダニの垂直分布	473

② クワガタムシを取り巻くダニの話	477
(2) クモの仲間	480
4 三郷村の貝	486
はじめに	486
(1) 陸上に棲む貝の仲間	486
(2) 水中に棲む貝の仲間	488
参考・引用文献	490
第8章 室山	495
第1節 室山の地質	497
1 室山のでき方	497
2 室山の土壌	499
3 大地の動きを見る ——室山での信州大学GPS観測——	500
4 室山で宇宙線を調べる ——信州大学理学部宇宙線地下観測室——	502
第2節 室山の植物	505
1 室山の植物	505
2 室山で注目すべき樹木	510
第3節 室山の昆虫相	
——室山には、どんな昆虫が生息しているのだろうか——	514
第9章 残したい三郷村の自然	521
第1節 三郷村の植物	523
1 落葉広葉樹林の環境に目を向けよう	523
2 森林は、涵養林 ^{かんようりん} として大切な役目を果たしている	524
3 黒沢川の緑の帯（グリーンベルト）を残そう	525
4 水田周辺の自然環境に配慮したい	526
5 平地に見られる社寺林と屋敷林を守ろう	527
第2節 三郷村の動物	531
1 希少種の保護	531
2 自然環境の保護	532
3 ビオトープ（Biotope）	534
4 環境影響評価（アセスメント）	535
5 環境学習	535
6 まとめ	535

執筆分担	537
調査協力者・資料提供者	539
三郷村誌編纂委員会名簿	541
三郷村誌刊行会名簿	544
事務局・編纂室職員	547
あとがき	549

付図 三郷村地質図
三郷村現存植生図
三郷村山地地名図
別冊 資料編（植物目録・動物目録など、CD-ROM付き）